

ワークシート（第6章 EPISODE）

EPISODE 6-1

● わかりやすく教えているのに……

教育学部で将来教師をめざしているOさんは、できるだけわかりやすく勉強を教えて、どの子どもにも学力をつけたいという思いをもっています。はじめての教育実習では、はりきって小学校の算数科の授業に臨みました。三角形の面積を求める問題では、三角形の面積を求める公式を教えて、それを全員が覚えられるように、何度もノートに書かせました。また全員が100点をとれるように、三角形の面積を求める練習問題のプリントに何枚も取り組ませました。クラスの子どもたちは、最初は一生懸命に学習に取り組んでいましたが、次第に集中力を切らす様子がみられるようになりました。

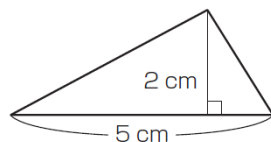
放課後に指導教員の先生から、「子どもたちの集中力が、だんだん落ちたのはなぜだと思う？」と聞かれたのですが、Oさんとしては、どの子どもにもわかりやすい授業だったと思うのに、どうしてこうなったのか、よくわからず、答えられませんでした。自信のあったOさんですが、次の授業が不安になってきてしまいました。

EPISODE 6-2

● 子どもたちの間違いを活かす

EPISODE 6-1 で登場した教育実習中のOさんは、指導教員の先生から指導を受けるなかで、大学の授業のことを思い出し、「あの理論はこのことか！」と、理論と実践が結びつきました。そして「子どもたちが間違えないように」するために、教師が先回りをするのではなく、むしろ子どもたちの間違いを大切に扱うなかで、子どもたちが自分で間違いに気づき、どうしたら間違えないようにするかを考える力をつけたいと考えるようになりました。

ある日、算数科の授業の、三角形の面積を求める問題で、次のような間違いをする子どもたちが数名みられました。



三角形の面積は、
 $5 \times 2 = 10$ で
 10 cm^2 です！



● 本章での学びを踏まえて、EPISODE 6-2 について検討してみましょう。

Oさんはここでどんな指導をしたらよいでしょうか。

(EPISODE6-2 記入欄)

〇さんはここでどんな指導をしたらよいでしょうか。

記入者名：

(日付： 年 月 日)